

ICTで研修をDX!

学年 教職員 教科など 教職員研修

子どももアプリも知れる! Win-win!

使用するサービス
Google Jamboard

DXする題材 校内研修 (埼玉県学力・学習状況調査質問紙調査分析)

DXのねらい Google Jamboardを実際に用いることで、授業で活用してもらうこと。

ICTを活用することでできること

「Google Jamboardって便利って聞くけど、一体どういうことに使えるの?」という先生に、まず体験してもらう事ができ、自身の授業で活用してもらうことが期待できる。

埼玉県学力・学習状況調査結果の分析を紙面にまとめることなく、他学年の話し合いの様子を端末上で見ることができる。

全教員で全学年の結果分析をすることで、他学年の分析を見ることができ、自身の授業改善につながる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 準備

- ① 埼玉県学力・学習状況調査の結果を職員分印刷する。
- ② 印刷されたものを綴じ込み、配布する。
- ③ 記録用紙を準備する。
- ④ 大きな紙にまとめるのであれば、模造紙や付箋等の準備も必要。
- ⑤ 校内研修の次第用紙を作成する。(場合によっては印刷・配布)

2 当日

- ① 印刷・綴じ込みをした結果の資料を配付する。
- ② 模造紙や付箋を配布する。
- ③ 模造紙にまとめる場合は別部屋を用意・移動する。
- ④ まとめながら記録用紙にも記入する。

3 事後

- ① 提出された記録用紙をまとめる。(即日に出せない場合もある。)
- ② 話し合った内容が、ファイルに綴じられてそのままになってしまう可能性がある。

DX!

DX後

1 準備 (年度当初に職員のクラスルームを作成しておく。)

- ① Jamboardのシートの準備



2 当日

- ① 埼玉県学力・学習状況調査の結果をPCを見ながら、自由に思ったことをJamboardに付箋で貼っていく。
- ② 学年で共有しながら話し合いの時間を設ける。
- ③ 話し合っている間に思ったことも自由に付箋機能で追加していく。



←Jamboardを用いずに行ったグループもありました。

学活「学期の反省」でJamboardを使用。↓

3 事後

- ① 分析をもとに、授業改善を図る。
- ② 研修で用いたJamboardを各教員が授業で用いる。



授業者から (成果・課題・留意点)

一番の成果は、研修で用いたアプリケーションを担当の先生が、その後授業で使用していたことである。情報担当教員もGoogle Jamboardの効果的な活用を模索しており、まず校内研修で用いてみたところ、その便利さに気づいた教員が授業で活用し始めた。使い方を説明する方法もあると思うが、実際に使ってみたり、その中で失敗を重ねたりしていく中で、または、そういう姿を教員同士で見せ合う中で、より身近にICTを感じていくものと思われる。それは、子供たちへの授業でも同様であり、「使い方」を見せるのではなく、「使っている我々教員の姿を見せる」ことが必要であると感じた。